

JHL NEWS

No.11

2016年2月8日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

北國がオムロンとの全勝対決制す！

～第40回日本ハンドボールリーグ・第10週～

第40回日本ハンドボールリーグ・第10週は2月6、7日に愛知などで女子5試合、男子1試合が行われ、2連覇をめざす北國銀行がオムロンとの全勝対決を1点差で競り勝ち、翌日の広島メイプルレッズ戦も手堅く勝利を握り、開幕からの連勝を7に伸ばした。

6日愛知での注目の首位決戦、オムロン-北國はスタートで2連取したオムロンに対し、北國はGK寺田の好セーブから大山の速攻などで3点を連取して逆転に成功。23分11-11の場面から北國はオムロン・東濱の退場に乗じて、河田、角南の連打で初めて2点差をつけ前半を終えた。後半に入りオムロンはGK藤間の好セーブなどで必死に食い下がったが、22分過ぎから北國・横嶋(彩)らの集中打を許してリードを広げられ、終盤、この試合10得点の吉田らで猛追したが届かず、1点差で逃げ切った北國が全勝を守った。

続くHC名古屋-飛騨高山ブラックブルズ岐阜は、飛騨高山が松本(淑)の活躍で序盤を先行。名古屋は高宮の速攻などで反撃を試みるも、飛騨高山GK・田口の好セーブに苦しみ、前半は飛騨高山8-5のリードで終了した。後半立ち上がりで名古屋は安齋、水谷(百)の連打で1点差に迫ったが、4分過ぎから相手退場のチャンスを活かせず、逆に4連続失点を喫してペースダウン。金恩恵、田中の速攻などで手堅く要所を締めた飛騨高山が6点差で勝利を取めた。

三重での三重バイオレットアイリス-ソニーセミコンダクタは、立ち上がりソニーは川崎、藤井で2点先行。三重も原のミドルシュートで1点を返すが、このあと10分余りノーゴールと沈黙してしまい、藤井のカットイン、川村の速攻などでペースをつかんだソニーが5点リードで前半を折り返した。後半に入り、三重は万谷、多田、池原らのシュートで食い下がりを見せたが、要所でのミスも目立ち、逆に田中、川村で着実に加点したソニーが3勝目をあげた。

7日石川での北國-広島は、立ち上がりからディフェンスがさえ渡った北國が広島の得点を許さず、相手のミスにつけ込んだ八十島らの速攻で点差を広げ、セットオフenseでも横嶋(彩)のリードで順調に得点を加えてがっちり主導権を握った。8点リードで迎えた後半も北國が終始先行。広島はディフェンスでプレッシャーをかけて反撃を試みたが、北國は横嶋(か)のポストプレーなどで広島を突き放して危なげなく首位を守った。



㊦北國・大山 ㊦飛騨高山・金恩恵

第11週の日程

2月11日(木)	宮城	大和町総合体育館(市営地下鉄線中央駅よりバス「上町」下車、車10分)	13:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × 大同特殊鋼
	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	北國銀行 × HC名古屋
	岐阜	ヒマラヤアリーナ(岐阜アリーナ)(JR岐阜駅からバス「ヒマラヤアリーナ」下車)	13:00~	(女)	飛騨高山ブラックブルズ岐阜 × ソニーセミコンダクタ
	広島	呉市総合体育館(JR呉線広駅から徒歩5分)	13:00~	(女)	広島メイプルレッズ × 三重バイオレットアイリス
			15:00~	(男)	湧永製薬 × 大崎電気
	福岡	福岡市民体育館(地下鉄箱崎線千代県庁口駅徒歩1分)	14:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × トヨタ車体
	沖縄	沖縄県立武道館アリーナ棟(沖縄都市モノレール奥武山公園駅徒歩5分)	14:00~	(男)	琉球コラソン × 豊田合成
2月13日(土)	愛知	TGアリーナ(名鉄名古屋本線国府宮駅から名鉄バス「稲沢市役所」下車、徒歩8分)	13:00~	(女)	HC名古屋 × ソニーセミコンダクタ
			15:30~	(男)	豊田合成 × 大崎電気
	三重	鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅徒歩15分)	14:00~	(男)	トヨタ車体 × 北陸電力
			16:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 北國銀行
沖縄	沖縄市体育館(那覇バスターミナルより21,23,27,31バス「園田」下車、徒歩8分)	14:00~	(男)	琉球コラソン × トヨタ紡織九州	
2月14日(日)	熊本	山鹿市総合体育館(九州産交バス「山鹿バスセンター」下車、車10分)	12:25~	(女)	オムロン × 広島メイプルレッズ
			14:30~	(男)	大同特殊鋼 × 湧永製薬

三重が飛騨高山から貴重な勝利

7日岐阜での男子・豊田合成-北陸電力は立ち上がり北電に先取点を許した合成だったが、すぐさま小塩のカットイン、ミドルシュートを中心に機動力を発揮してペースをつかみ、徐々にリードを広げていった。合成は後半も橋本らで着実に得点を加え、視野の広いプレーや個人技をフルに活かして29-19と快勝した。

続く女子・飛騨高山ブラックブルズ岐阜-三重バイオレットアイリスは、序盤から激しい主導権争いが続いたが、26分過ぎから多田のカットイン、河嶋のサイドシュートで三重が2点リードでUターン。後半も三重が万谷、多田、河嶋の3連打でリズムを作る。飛騨高山は金恩恵の速攻やミドルシュートで取り返すが、12分から3分間での3連続失点が大きく響き、4点差で勝利した三重が上位浮上へ望みをつなげた。

次週は2月11、13、14日に宮城などで男子8試合、女子6試合が組まれ、一気に順位争いが過熱する。

さらに順位争いも過熱！

日本代表組が参戦する男子では首位を並走する大崎電気とトヨタ車体の戦いぶりが見ものだ。大崎は開幕戦で引き分けた湧永製薬戦をどう乗り切るか。車体はアジア選手権で好調だった高智、渡部らでトヨタ紡織九州、北電を相手に手堅く白星を積み上げたい。2年連続のプレーオフ進出をめざす琉球コラソンはホームに合成、紡織を迎え撃つ。宮城でのトヨタ自動車東日本-大同特殊鋼は上位戦線生き残りへ、ともに負けられない一戦になる。女子はHC名古屋、三重バイオレットアイリスの挑戦を受ける北國銀行が順当に連勝を伸ばしそう。三重は11日の広島メイプルレッズ戦を含め、上位進出への手応えをつかみたいところ。飛騨高山-ソニーセミコンダクタ戦の行方にも注目。



三重・河嶋

◆ 2月6日(土) 女子
愛知・ブラザー体育館

北國銀行	27 (15-13)	26	オムロン	
6勝0分0敗			6勝0分1敗	
<0/1>	K 寺田		藤間	K <0/2>
5/8	角南		澤田	5/10
0/5	塩田		澤田	0/0
0/1	石野		吉田	7/13 3/3
2/2	大山		小林	0/0
0/0	永山		小松	1/7
4/5	横嶋か		永田	3/3
0/1	後藤		山下	0/0
0/0	翁長		小館	0/0
K	茶園		山本	K <0/2>
4/4	2/8		横嶋彩	勝川
6/9	河田		6/9	川俣
0/0	武藤		0/0	本
<0/2>	K 橋本		東	2/5
4/4	八十島		末	0/1
0/0	山口		白	K

4/4	23/43	2(FPP)9	23/47	3/3
シュート 阻止率				
0.425	17/40	寺田		藤間
0.000	0/0	茶園		山中
0.000	0/0	橋本		白石
0.425	17/40	(GK)	9/32	0.281
審判(本田・田淵)		観客 607人		

◆ 2月6日(土) 女子
愛知・ブラザー体育館

飛騨高山ブラックブルズ岐阜	22 (8-5)	16	HC名古屋	
2勝1分3敗			0勝0分7敗	
0/2	比嘉桃		伊藤	0/0
1/1	宮崎		福井	1/8
2/2	池之端		水谷	0/0
0/0	中村		丸山	1/7
7/14	松本淑		細田	2/4
0/0	松坂		坂内	1/2
2/7	柴田		上野	1/4
0/0	和田		安齋	2/4
1/1	山中		瀧澤	K <0/1>
K	松本知		水谷百	4/5
1/1	4/13		高宮	4/7
K	田口		高田	0/0
2/4	友野		戸塚	K
0/0	笹原			
0/0	細江			
2/4	田中			

1/1	21/48	8(FPP)5	16/41	0/0
0.750	3/4	松本知		瀧澤
0.400	10/25	田口		戸塚
0.448	13/29	(GK)	18/39	0.462
審判(貝沼・須原)		観客 620人		

◆ 2月6日(土) 女子
三重・HOS名張アリーナ

ソニーセミコンダクタ	22 (10-5)	13	三重バイオレットアイリス	
3勝1分2敗			1勝0分5敗	
0/0	山野		山根	K <0/1>
1/1	本多		加藤	0/0
2/3	田中		富田	1/2
1/1	6/14		川村	0/0
1/1	3/3		藤村	0/0
0/0	古川		木村	1/3
2/2	川崎		角南	0/2
0/1	諸岡		岩見	K <0/1>
<1/2>	K 飛田		漆野	0/2
3/6	安倍		多田	2/6
K	網谷		花村	K
3/7	藤井		万谷	3/6
0/0	カルリン		池原	2/6 1/2

2/2	20/40	4(FPP)5	12/36	1/2
0.625	20/32	飛田		山根
0.000	0/0	網谷		岩見
0.625	20/32	(GK)	16/36	0.444
審判(寺内・細川)		観客 430人		

◆ 2月7日(日) 女子
石川・小松総合体育館

北國銀行	28 (16-8)	14	広島メイプルレッズ	
7勝0分0敗			3勝0分4敗	
K	寺田		毛利	K
1/4	角南		角屋	1/1
3/4	塩田		青山	0/0
1/1	石野		青木	2/5
2/3	大山		真継	1/4
0/0	永田		松村	1/3
6/6	横嶋か		松木	0/0
2/2	後藤		塩見	0/0
0/0	翁長		門谷	0/1
K	茶園		石野	1/1
2/3	4/7		横嶋彩	K <1/3>
3/5	河田		板野	0/0
0/0	武藤		高山	3/4
<1/2>	K 橋本		林	K
4/7	八十島		加須屋	4/10 1/2
0/0	山口		大前	0/2

2/3	26/39	4(FPP)7	13/31	1/2
0.519	14/27	寺田		毛利
0.000	0/0	茶園		板野
1.000	1/1	橋本		林
0.536	15/28	(GK)	10/36	0.278
審判(永春・安田)		観客 1026人		

◆ 2月7日(日) 女子
岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ

三重バイオレットアイリス	22 (10-8)	18	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	
2勝0分5敗			2勝1分4敗	
<0/1>	K 山根		比嘉桃	2/3
0/0	加藤		宮崎	0/0
0/1	近藤		池之端	1/2
0/0	野村		中村	0/0
3/4	河嶋		松本淑	0/4 2/2
1/3	角南		松坂	0/0
<0/1>	K 岩見		柴田	2/5
1/1	1/1		和田	0/0
1/1	6/12		日下石	0/0
<1/2>	K 花村		山中	0/0
5/9	万谷		松本知	K
0/1	3/8		金恩恵	6/13 1/2
2/4	池原		田口	K <1/2>
			友野	2/11
			細江	0/0
			田中	2/3

1/2	21/42	7(FPP)3	15/41	3/4
0.000	0/0	山根		松本知
0.000	0/0	岩見		田口
0.483	14/29	花村		12/33
0.483	14/29	(GK)	12/33	0.364
審判(桶家・魚川)		観客 710人		

◆ 2月7日(日) 男子
岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ

豊田合成	29 (14-10)	19	北陸電力	
4勝0分6敗			0勝0分10敗	
K	藤戸		岩永	K <1/2>
0/1	榎原		筒井	2/7
2/2	原田		藤越	1/1
4/5	野田		切越	4/8
1/3	中島		佐條	0/0
0/0	長江		松島	2/3
0/0	加藤		須坂	3/9
1/4	今村		高森	0/0
0/1	2/7		樋口	2/2
1/2	芳村		小池	2/9
K	藤堂		仲廣	K <0/1>
1/1	0/1		廣瀬	1/2
0/1	1/1		盛川	K
2/2	2/2		出添	0/1
1/1	10/14		小塩	2/4
4/5	橋本		成田	

2/3	27/47	2(FPP)4	19/46	0/0
0.333	5/15	藤戸		岩永
0.471	8/17	藤堂		廣瀬
0.406	13/32	(GK)	14/41	0.341
審判(畑中・梅木)		観客 320人		

男女個人ランキング 第10週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1	棚原 良	(琉球コラソン)	72点	(8試合)	1	吉田 起子	(オムロン)	52点	(7試合)
2	小塩 豪紀	(豊田合成)	69点	(10試合)	2	横嶋 彩	(北國銀行)	44点	(7試合)
3	東長濱 秀希	(大崎電気)	51点	(8試合)	3	加須屋 朝緋	(メイプルレッズ)	34点	(7試合)
3	藤江 恭輔	(大同特殊鋼)	51点	(8試合)	4	多田 仁美	(バイオレットアイリス)	32点	(7試合)
3	樋口 睦	(豊田合成)	51点	(10試合)	5	高山 智恵	(メイプルレッズ)	31点	(7試合)
6	野村 浩輝	(湧永製薬)	50点	(9試合)	6	横嶋 かつお	(北國銀行)	30点	(7試合)
6	玉井 宏章	(トヨタ東日本)	50点	(8試合)	6	川村 杏奈	(ソニー)	30点	(6試合)
8	藤本 純季	(トヨタ車体)	48点	(8試合)	8	河田 知美	(北國銀行)	28点	(7試合)
9	橋本 明雄	(豊田合成)	42点	(10試合)	8	金 恩恵	(ブラックブルズ)	28点	(7試合)
10	野田 祐希	(豊田合成)	40点	(9試合)	10	松尾 祐依	(オムロン)	27点	(7試合)
10	津屋 大将	(トヨタ車体)	40点	(8試合)					

フィールド得点

1	小塩 豪紀	(豊田合成)	68点	(10試合)	1	吉田 起子	(オムロン)	33点	(7試合)
2	棚原 良	(琉球コラソン)	55点	(8試合)	2	高山 智恵	(メイプルレッズ)	31点	(7試合)
3	藤江 恭輔	(大同特殊鋼)	47点	(8試合)	3	横嶋 かつお	(北國銀行)	30点	(7試合)
4	玉井 宏章	(トヨタ東日本)	43点	(8試合)	3	横嶋 彩	(北國銀行)	30点	(7試合)
5	橋本 明雄	(豊田合成)	42点	(10試合)	5	多田 仁美	(バイオレットアイリス)	28点	(7試合)
5	藤本 純季	(トヨタ車体)	42点	(8試合)	6	松尾 祐依	(オムロン)	27点	(7試合)
5	樋口 睦	(豊田合成)	42点	(10試合)	6	河田 知美	(北國銀行)	27点	(7試合)
8	野村 浩輝	(湧永製薬)	41点	(9試合)	8	角 南唯	(北國銀行)	26点	(7試合)
8	東長濱 秀希	(大崎電気)	41点	(8試合)	8	川村 杏奈	(ソニー)	26点	(6試合)
10	佐藤 智仁	(湧永製薬)	39点	(9試合)	8	万谷 由衣	(バイオレットアイリス)	26点	(7試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	野村 浩輝	(湧永製薬)	41点/	54射	0.759	1	横嶋 かつお	(北國銀行)	30点/	35射	0.857
2	橋本 明雄	(豊田合成)	42点/	57射	0.737	2	角 南唯	(北國銀行)	26点/	42射	0.619
3	藤本 純季	(トヨタ車体)	42点/	59射	0.712	3	高山 智恵	(メイプルレッズ)	31点/	52射	0.596
4	東長濱 秀希	(大崎電気)	41点/	66射	0.621	4	松尾 祐依	(オムロン)	27点/	46射	0.587
5	玉井 宏章	(トヨタ東日本)	43点/	72射	0.597	5	川村 杏奈	(ソニー)	26点/	48射	0.542
6	小塩 豪紀	(豊田合成)	68点/	114射	0.596	5	万谷 由衣	(バイオレットアイリス)	26点/	48射	0.542
7	藤江 恭輔	(大同特殊鋼)	47点/	88射	0.534	7	河田 知美	(北國銀行)	27点/	51射	0.529
8	佐藤 智仁	(湧永製薬)	39点/	75射	0.520	8	多田 仁美	(バイオレットアイリス)	28点/	55射	0.509
9	樋口 睦	(豊田合成)	42点/	84射	0.500	9	吉田 起子	(オムロン)	33点/	67射	0.493
10	棚原 良	(琉球コラソン)	55点/	130射	0.423	10	横嶋 彩	(北國銀行)	30点/	63射	0.476

7mスロー得点

1	棚原 良	(琉球コラソン)	17点	(8試合)	1	吉田 起子	(オムロン)	19点	(7試合)
2	鈴木 済	(トヨタ紡織九州)	12点	(9試合)	2	横嶋 彩	(北國銀行)	14点	(7試合)
3	東長濱 秀希	(大崎電気)	10点	(8試合)	3	加須屋 朝緋	(メイプルレッズ)	12点	(7試合)
4	荒川 蔵人	(トヨタ紡織九州)	9点	(9試合)	4	高宮 咲	(H C 名古屋)	9点	(7試合)
4	池辺 大貴	(大同特殊鋼)	9点	(8試合)	5	松本 淑佳	(ブラックブルズ)	8点	(7試合)
4	野村 浩輝	(湧永製薬)	9点	(9試合)	6	藤田 明日香	(ソニー)	7点	(6試合)
4	樋口 睦	(豊田合成)	9点	(10試合)	6	原 希美	(バイオレットアイリス)	7点	(7試合)
8	玉井 宏章	(トヨタ東日本)	7点	(8試合)	8	金 恩恵	(ブラックブルズ)	5点	(7試合)
9	藤本 純季	(トヨタ車体)	6点	(8試合)	9	門谷 舞	(メイプルレッズ)	4点	(7試合)
9	松島 良明	(北陸電力)	6点	(10試合)	9	川村 杏奈	(ソニー)	4点	(6試合)
					9	多田 仁美	(バイオレットアイリス)	4点	(7試合)

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1	志水 孝行	(湧永製薬)	137本/	327射	0.419	1	寺田 三友紀	(北國銀行)	109本/	203射	0.537
2	村上 凌太	(大崎電気)	60本/	156射	0.385	2	飛田 季実子	(ソニー)	59本/	110射	0.536
3	加藤 芳規	(トヨタ車体)	53本/	142射	0.373	3	藤間 かつお	(オムロン)	92本/	188射	0.489
4	関口 勝志	(トヨタ東日本)	107本/	296射	0.361	4	花村 美香	(バイオレットアイリス)	60本/	128射	0.469
5	藤戸 量介	(豊田合成)	101本/	306射	0.330	5	田口 舞	(ブラックブルズ)	87本/	207射	0.420
6	岩下 祐太	(トヨタ紡織九州)	68本/	213射	0.319	6	瀧澤 瞳子	(H C 名古屋)	42本/	115射	0.365
7	岩永 龍哉	(北陸電力)	57本/	187射	0.305	7	戸塚 絢子	(H C 名古屋)	50本/	171射	0.292
8	内田 武志	(琉球コラソン)	64本/	212射	0.302						
9	川添 将典	(北陸電力)	44本/	186射	0.237						

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	内田 武志	(琉球コラソン)	7本/	17射	0.412	1	橋本 千里	(北國銀行)	4本/	8射	0.500
2	下野 隆雄	(トヨタ紡織九州)	5本/	15射	0.333	2	網谷 涼子	(ソニー)	2本/	10射	0.200
3	伊藤 浩太郎	(湧永製薬)	4本/	14射	0.286	3	板野 陽	(メイプルレッズ)	3本/	16射	0.188
4	田中 雄大	(大同特殊鋼)	3本/	11射	0.273	4	飛田 季実子	(ソニー)	2本/	12射	0.167
5	村上 凌太	(大崎電気)	2本/	11射	0.182	5	田口 舞	(ブラックブルズ)	2本/	14射	0.143
6	藤堂 聖二	(豊田合成)	2本/	13射	0.154						

第40回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週第2日目終了 2月7日

順位	男子	対戦相手									試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		大崎電気	トヨタ車体	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ自動車東日本	豊田合成	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	北陸電力								
1	大崎電気	○	●	△	○	○	○	○	○	○	8	6	1	1	13	252	196	56
2	トヨタ車体	●	○	△	○	○	○	○	○	○	8	6	1	1	13	232	196	36
3	大同特殊鋼	○	△	○	○	●	●	○	○	○	8	5	1	2	11	225	203	22
4	湧永製薬	△	●	●	○	●	○	○	○	○	9	5	1	3	11	254	228	26
5	トヨタ自動車東日本	●	●	○	○	○	●	○	○	○	8	5	0	3	10	199	203	-4
6	豊田合成	●	●	○	●	○	○	●	●	○	10	4	0	6	8	288	286	2
7	琉球コラソン	●	●	●	●	●	○	○	○	○	8	3	0	5	6	209	224	-15
8	トヨタ紡織九州	●	●	●	●	●	○	○	●	○	9	3	0	6	6	222	258	-36
9	北陸電力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	0	0	10	0	224	311	-87

順位	女子	対戦相手							試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		北國銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ	広島メイプルレッズ	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋								
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	○	7	7	0	0	14	198	114	84
2	オムロン	●	○	○	○	○	○	○	7	6	0	1	12	167	119	48
3	ソニーセミコンダクタ	●	●	○	○	△	○	○	6	3	1	2	7	125	106	19
4	広島メイプルレッズ	●	●	●	○	●	○	○	7	3	0	4	6	147	143	4
5	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	●	●	△	○	○	●	○	7	2	1	4	5	107	146	-39
6	三重ハイオレットアイリス	●	●	●	●	○	○	○	7	2	0	5	4	131	150	-19
7	H C 名古屋	●	●	●	●	●	●	●	7	0	0	7	0	112	209	-97

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。